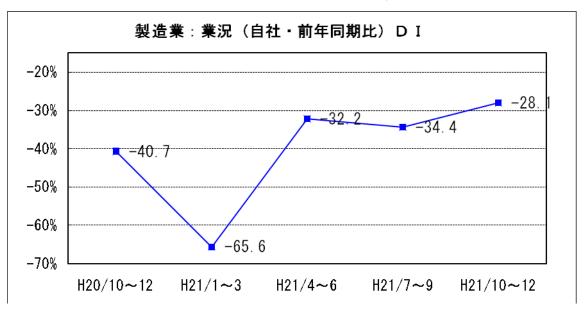
# 2. 製造業の動向

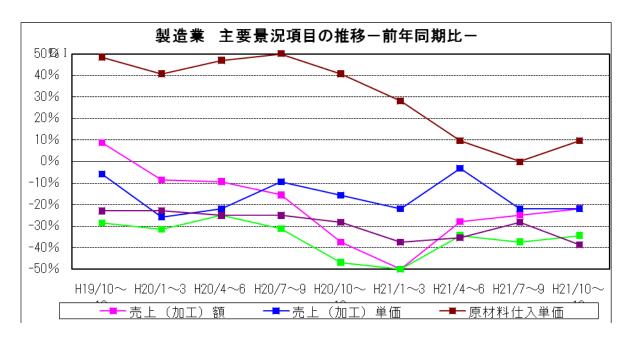
#### (1)業況概要(前年同期比)

今期の業況DI値は、マイナス 28.1。前期マイナス 34.4 に比べ 6.3 ポイント上昇、回復。来期見通しは、マイナス 42.0 と大幅に悪化の見込み。



製造業の主要景況項目 DI 値の推移(前年同期比・%)

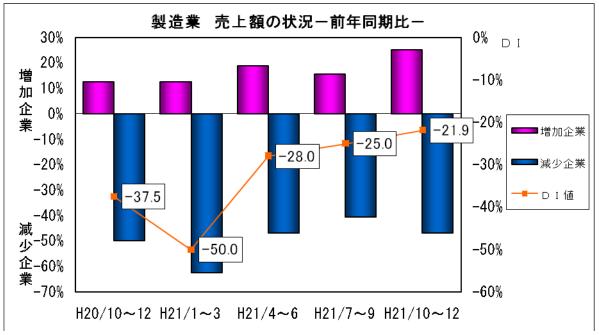
	前々期	前 期(A)	今 期(B)	今期と前期の差	来期
	(21年4月~6月)	(21年7月~9月)	(21年10月~12月)	(B) - (A)	見通し
売上(加工)額	<b>▲</b> 28. 0	<b>▲</b> 25. 0	<b>▲</b> 21. 9	3. 1	<b>▲</b> 15. 7
売上(加工)単価	<b>▲</b> 3. 1	<b>▲</b> 21. 9	<b>▲</b> 21. 9	0.0	<b>▲</b> 28. 1
原材料仕入単価	9. 7	0.0	9. 7	9. 7	0.0
採算 (経常利益)	<b>▲</b> 34. 4	<b>▲</b> 37. 4	<b>▲</b> 34. 4	3.0	<b>▲</b> 31. 3
資金繰り	<b>▲</b> 35. 5	<b>▲</b> 28. 2	<b>▲</b> 38. 7	<b>▲</b> 10. 5	<b>▲</b> 28. 1



#### (2)主要項目の概況

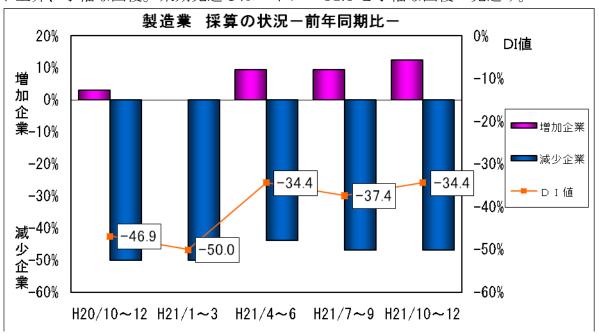
### ①売上(加工)額〈前年同期比〉

今期の売上(加工)額D I 値は、マイナス 21.9。前期マイナス 25.0 から 3.1 ポイント上昇、小幅な回復。来期見通しは、マイナス 15.7 とさらに回復の見込み。



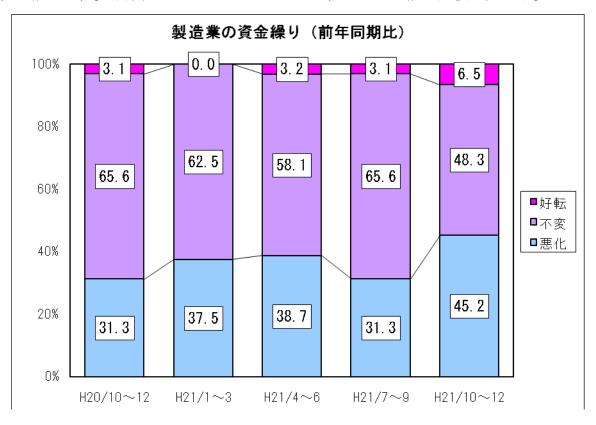
## ②採算(前年同期比)

今期の採算(経常利益) D I 値は、マイナス 34.4。前期のマイナス 37.4 から 3.0 ポイント上昇、小幅な回復。来期見通しはマイナス 31.3 と小幅な回復の見込み。



## ③資金繰り (前年同期比)

今期の資金繰りDI値は、マイナス 38.7。前期のマイナス 28.2 から 10.5 ポイント下降、大幅な悪化。来期見通しはマイナス 28.1 と、さらに大幅な回復の見込み。

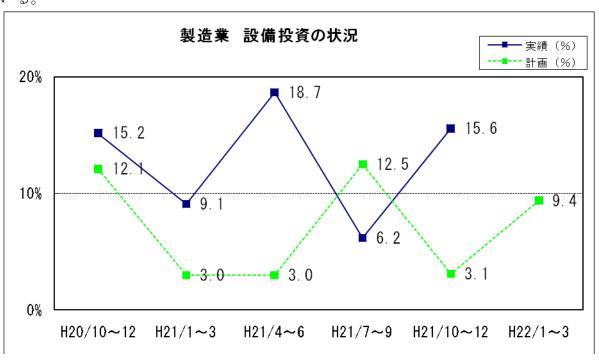


## ④設備投資

新規設備投資の状況

				投	資	内	容			
	あり	土地	工場	生産	車両・	付帯	OA	福利厚	その他	なし
			建物	設備	運搬具	施設	機器	生 施 設		
前期実施(実数)	2	0	0	0	1	0	1	0	0	30
(%)	6.2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	93.7
今期実施 (実数)	5	0	1	0	2	0	1	0	1	27
(%)	15.6	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	84.4
来期計画(実数)	3	0	0	3	0	0	0	0	0	29
(%)	9.4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.6

今期設備投資を実施した企業は5社 (15.6%)。前期 (平成21年7~9月期)の実施企業2社 (6.2%)より3社増加。来期は3社 (9.4%)が、生産設備への設備投資を計画している。



#### ⑤経営上の問題点

今期、製造業が経営上の問題点として一位~三位にあげる項目は、

・「需要の停滞」

・ 「製品(加工)単価の低下、上昇難」

「製品ニーズの変化」

「原材料費・人件費以外の経費の増加」

(前期 77.8%→今期 67.9%)

(前期 22.2%→今期 35.7%)

(前期 25.9%→今期 32.1%)

(前期 14.8%→今期 25.0%)

となっている。

